

【事業所向け】 放課後等デイサービス自己評価表（エール） 2023年度

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	0	車いすでも動きやすく室内のレイアウトを工夫している。段差を付けてスペースを分けることで、横になったり座って本を読むなどスペースを分けることができている。
	2	職員の配置数は適切であるか	2	2	1	0	送迎を行う際、利用者2人以上の場合は添乗が必ずいると良いと思う。配慮が必要な利用者がある場合は必ず添乗をつけるように工夫しているので安心。 配置基準上は問題ないが、肢体不自由児が多くなると現状の体制では少なく感じることもある。食事介助など人手が必要な時にはより体制が厳しくなってしまう。 足りないと感じる曜日もあります
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	0	1	0	館内、出入りをするところは問題ない。建物の裏側が段差や砂利敷きのため畑や水遊びの時に車いすの児童の異動が難しく制限されてしまう。
業務改善	4	業務改善を進める為のPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	2	0	3	0	目標設定はできている利用者としていない利用者があるのでできれば全員目標設定を職員全員ができたらいと思う。基本的に正職が行うため、有期職員の参加が難しい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	1	0	毎年事業所評価を行い、意見を集約している。また、それ以外にも希望や要望を聞く機会を設定している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	1	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	0	2	0	事業所単位では、第三者評価も定期的な受審はしていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	0	eラーニングの導入、会議でも全体が参加する研修を必ず設定している。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	0	アンケート形式で本人、保護者の意向を確認している。アセスメントの見直しなどが不十分になっている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	0	2	0	できている利用者としていない利用者がある。1人一つでもツールを使用できたらいと思う。 ツールはあるが、更新できていないものがある
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	1	1	0	有期職員の参加が時間的に難しく、正職間で検討していることが大半。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	1	0	正職、有期皆で考えられたらもっと色々な案がでるのかなと思います。その月の担当を決めてその案をもとにみんなで話し合って決めたらいいと思う。制作やクッキングは季節に合わせて設定し、メニューも新しいものを取り入れたりもしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	0	0	長期休みは、平常時できないような活動を取り入れている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	1	0	
	15	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	0	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われてた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	3	1	0	退勤する時間的な問題で終了時にはミーティングは行えないが、次回の支援開始前のミーティングで気になったことはなんでも話せる時間があるので特に問題はないと思う。 送迎対応と有期職員の勤務時間により支援後の振り返りの設定は困難。そのため支援前の打ち合わせの際、その日の支援の打ち合わせのほかに、前週の確認を含めて行っている。 打ち合わせ中でない時以外でも、話せる時間があれば伝達しあっている。
	17	日々の支援に関して正しい記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	1	0	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	1	0	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	4	0	1	0	
関係機関や	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	0	会議設定があれば参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	0	2	0	送迎時の対応は学校とも共有できているが、行事予定や下校時刻などは学校からの提示はないため、保護者を介して下校時刻の確認を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	3	0	2	0	

保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	0	1	3	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	0	4	0	移行先事業所へ提出する書類としての整えはない。必要に応じて情報提供は行っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	1	0	公認心理士による研修を毎年実施している。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	3	2	0	放デイとして交流の機会を求める保護者が少ないため設定していない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	2	2	0	法人としては参加しているが、事業所単位ではできていない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	0	連絡帳や送迎、必要に応じて電話連絡をして確認をしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	3	1	0	専門として行っていない
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	1	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	0	保護者から相談があればその都度対応している。またライン電話での話ができる窓口を設定している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	0	0	0	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	1	0	法人の会報誌で事業所の生地は発信しているが、HPの更新が不定期になってしまっている。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	1	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	2	0	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	0	2	0	保護者までの周知が不十分
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	0	児童の避難訓練のほかに、職員のための消火訓練、電源確保訓練、非常時の送迎訓練、応急救護訓練など年間で設定、実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	0	毎年全体の研修設定月を設定し、研修、チェックリストを行っている。その結果についても検証・検討している。定期的に研修をしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	0	1	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	2	0	3	0	ヒヤリハットノートを掲示して記入できるようにしているが、報告を受けても各自記入するところまで定着していない現状ノートを共有している。

